

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【公開番号】特開2010-28794(P2010-28794A)

【公開日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2009-91829(P2009-91829)

【国際特許分類】

H 03 L 7/26 (2006.01)

【F I】

H 03 L 7/26

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月2日(2012.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガス状の金属原子を励起する励起光を出射する光源と、

両端が開口している筒状の部材、前記一方の開口を封鎖している第1の部材、及び前記他方の開口を封鎖している第2の部材を有し、前記筒状の部材、前記第1の部材、及び前記第2の部材で閉鎖されている内部空間に前記ガス状の金属原子が封入されたガスセルと

、前記第1の部材の外側に備えられている第1の加熱手段と、

前記第2の部材の外側に備えられている第2の加熱手段と、

前記第1の加熱手段及び前記第2の加熱手段を制御する温度制御回路を有している基板と、

前記第1の加熱手段と前記基板とを接続する第1の配線と、

前記第2の加熱手段と前記基板とを接続する第2の配線と、

前記第1の加熱手段と前記第2の加熱手段を接続している第3の配線と、を備えていること特徴とする原子発振器。

【請求項2】

前記第3の配線が前記筒状の部材の外面に備えられていることを特徴とする請求項1に記載の原子発振器。

【請求項3】

前記第3の配線が前記筒状の部材の外面を加熱するものであることを特徴とする請求項2に記載の原子発振器。

【請求項4】

前記第1の加熱手段、及び前記第2の加熱手段は透明発熱体である請求項1乃至3のいずれか一項に記載の原子発振器。

【請求項5】

前記ガス状の金属原子に発生する電磁誘起透明化現象を利用した請求項1乃至4のいずれか一項に記載の原子発振器。